

## 助成事業実施報告書

団体名..... 特定非営利活動法人こらそん  
代表者・役職名 氏名..... 常勤職員 水上真

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクト名

知的障害者 余暇活動支援継続及びその発展(法人内バスハイク行事)

### 2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2004年4月に立川市手をつなぐ親の会有志から地域デイグループとして学齢児の余暇活動を支援する為に立川市にて発足。設立以後は立川市内の施設を利用しながら、放課後・休日の余暇活動を中心に活動。継続活動を経て、2012年、法人格取得に至る。現在も学齢から成人の方の支援まで幅広く支援しています。

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

知的障害のある方に対する社会における認識の広がりと共に、余暇活動場所の確保や充実の必要性が高まってきている現状において、既存の活動団体や社会資源を継続させながらニーズに応え、発展させていく事は必須であると考えます。その為にも既に地域において長く余暇活動支援を継続している当法人の活動の継続と発展は重要であります。今回のバスハイクもその目的の実現の一つと考えています。

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

現在当法人で行っている知的障害児者の余暇活動を継続させていく事、更には10年に及ぶ活動で培ったノウハウを活用して、当事者の活動場所の継続確保と更なる発展を進めてゆく事を目的としています。その為の活動の一つとして、法人として継続して行ってきた利用者様、保護者様、職員合同のバスハイクを実施しました。 実施日時【平成29年10月15日(日)AM8:30～17:00】【立川→河口湖周辺】

### 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

当日は体調不良で2名かお休みされる方が出ましたが、朝から皆さん笑顔の多いバスハイクとなりました。車内でもバスレクリエーションやカラオケ、談笑などで楽しい時間を過ごし、利用者様とご家族、職員と幅広く活発な交流を持つことが出来ました。

天気は生憎でしたが、富士登山電車に乗ったり、河口湖では遊覧船にも乗車するなど、楽しみながら貴重な体験をする事が出来ました。解散される際にも多くの笑顔や「楽しい時間を過ごせました」という言葉も頂け、例年にも増して大変有意義なバスハイク行事となりました。

### 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

来年度も利用者様とご家族のご要望を聞きながら行き先を決め、バスハイクを実施する予定です。旅の思い出として持って帰れる手作りの記念品がある様な、何かを作成する体験型の内容など今までにない内容のバスハイクも、来年度以降は検討して行けたらと考えています。

## 7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり。特になし

下吉田駅

SHIMOYOSHIDA STATION

2

SHIMOYOSHIDA STATION

しもよしだ

1



FUJI TOZANDENSHA

